

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成26年8月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103193
法人名	社会福祉法人 松恵会
事業所名	グループホームほのぼの
所在地	鹿児島県鹿児島市西別府町1801 (電話) 099-283-7112
自己評価作成日	平成26年6月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームほのぼのは、自然に恵まれ小鳥のさえずりが聞こえ、朝日に目覚め、夕日を楽しむ環境にあります。ほのぼのの入居者様は、穏やかなぬくもりに満ちた優しい気持ちで入居者同士声を掛け合い、楽しみながら生活されています。スタッフは、高齢の方が多く、入居者様が出来ないことを一緒に手助けしながらゆったりと過ごされるよう心がけています。年間の外出や行事も、出来るだけ全員参加できるように工夫して、入居者様の喜びと一緒に喜び、寂しさは寄り添い少しでも小さくできるよう支援しています。又御家族や地域の方々と交流できるよう民生委員の方々の協力や情報を頂いています。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年7月17日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、市街地から抜け出た小高い場所にあり、近隣には小・中・高等学校や医療・福祉施設にも隣接し、自然の中小鳥のさえずりが聞こえる環境にある。管理者は事業所と地域の関わりや交流を考え、地域住民のゴミ拾いに利用者と参加し繋がりを築いていった。今では地域からの情報提案で「臨床美術」を取り入れて利用者と作品を作り展示等している。地域密着型の特性を生かすべく、管理者の根気強い地域の方々との関係作りが身を結び、今では交流も深い。利用者や家族に対する支援も、アンケートの回答にあるように細かい関係作り、利用者や家族の思いに本人・本位のケアを提供し、信頼関係も築かれていることが伺える。

当ホームの理念「入居者のみなさんと寄り添いながら 気持ちに触れ願いに気づき ゆったりと過ごし地域の方々との交流を深め地域に根ざす」を目標に、日々ケアに努めているとてもアットホームなグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り後理念を唱和しております。理念は、玄関・スタッフ室・台所に貼りスタッフの意識できるようにしています。	理念は玄関・スタッフ室・台所に掲示されている。定期的に見直しもされており、朝礼後に唱和し、意識付けをし振り返りの機会としている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の、民生委員の方々との協力や情報を頂き、地域の花植えやしめ縄作り、ゴミ拾いに入居者様をお連れして地域の方々と交流しています。	ホームの行事に参加してもらったり、地域のゴミ拾いに参加するなど交流をもっている。地域の方からの提案で「臨床美術」を取り入れ活用している。事業所と地域の交流は密に出来ている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方々が野菜を売りに来てくださいますので、入居者様をお連れして、話が弾まれ買い物をしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回運営推進会議を開催し、入居者代表、ご家族代表の参加も出席。又運営推進会議と、地域の方々をお招きして炊き出し訓練なども開催して取組状況を報告しております。	会議には、家族代表・民生委員・地域代表・地域包括センター代表・入居者の代表も参加する。行事報告やホームの状況報告、またヒヤリハット事例の報告もしている。また会と兼ねて地域の方々に一緒に行事をして地域の理解協力をもらう意義のある会としている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	諸手続きに出向いた時や、書類の分からない時など、情報交換や指導を頂いています。	介護相談員の受け入れや、情報交換で日頃より協力関係は築かれている。日常的に助言や相談を受け入れながらサービスの向上に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束廃止委員会を開催しています。又職員研修でスキルアップ研修として勉強会を行っています。ほのぼのでは玄関に鍵をかけずに開放しドアが開くと鈴の音がしその都度確認しています。	身体拘束についての勉強会を年間計画に毎年入れている。ヒヤリハットの原因除去対策として、思いを汲み取りながらのケアを心がけている。本人本位のケアを基本としながら、職員は見守りと連携で安全で自由な生活を支援しておる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修会やスタッフ会議の中でスキルアップ研修として勉強会を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的に職員研修会で勉強会しています。又運営推進会議時地域包括支援センターの職員に助言を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に重要事項説明書、契約書、個人情報に関する説明を確りとりし、質問等ないかの確認をしております。改定時には、お御家族に直接説明し、確認しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置しております。又家族との会話、家族会、運営推進会議での意見を聞き運営者に報告しスタッフ会議で検討しています。</p>	<p>年2回の家族会や毎月の便り、日常の面会・電話連絡時等で、利用者の状況を伝え交流を図り、意見、要望を引き出している。出された意見・要望はスタッフ会議で話し合い運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月始めに全員参加でスタッフ会議を行っています。その中で意見交換し、皆で話し合っています。又必要に応じ臨時にスタッフ会議を行っています。</p>	<p>毎月法人での会議・ホーム独自のスタッフ会議で、意見交換や話し合いを行っている。出された意見要望等は運営に反映されている。「災害対策マニュアルを作成して欲しい」との要望後には法人がすぐに作成したのはその一例である。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>労働時間の改善や給与面の見直しを行い常に職場環境整備につとめています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修や段階に応じて研修を推進しています。昨年より法人全体合同の、接遇セミナーを開催。全員参加してスキルを上げる機会を作っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県や市のグループホーム連絡協議会に加入し職員研修会に参加しています。月1回のグループホーム管理者会議にも参加し、情報交換などでサービスの質を向上する取組をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居様は、新しい所・新しい出会いは、不安だと思いますので出来るだけ、寄り添いお話をし好きな事などお聞きしながら不安を少しでもとりのぞき信頼関係を築けるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居された時これまでのご家族のお悩みなどお聞きし、穏やかに過ごせるよう御家族と話し合いながらスタッフと一緒に支援していきましょと、安心して頂くように話して行きます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が困っていること、要望等に耳を傾けながら、関係づくりにつとめている	居室で本人やご家族の希望などお聞きし、本人・御家族が話しやすい環境を作り、必要とされる事を見極め支援します。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居所様が沈みがちな時や不安や怒りがあり、職員に強い口調になる事もあります。そういう場面の時はさりげない会話の中で原因を探し、寄り添い会話するうち落ち着かれる事もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の立場になって接するようにしています。入居、面会、担当者会議の意向、悩み喜びをお聞きし入居者様のエピソードをお伝え安心をおとどかしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族以外に友人やデイサービスのお友達やスタッフがめんかいにきています。個別処遇で昔住んでいた地域、店墓参り、自宅の掃除、親戚との交流に行ったりしています。	地域行事には積極的に参加し、ボランティアを受け入れたり馴染みの関係を支援している。個別支援も家族の協力を得ながら行っている。またホームへも友人知人がデイサービスの帰りに立ち寄るなどその関係・交流支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様それぞれの性格があり、お一人一人が個性を生かせるような声かけや、利用者様が孤立しないように輪に入れるようにしえんします。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された方もその後の近況報告もちろん、退院された後のフォローをしています。再入居も3件の事例があります。御家族は、元気になられた時の為に再入居の申し込みをされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	何気ない会話の中から本人の希望や意見を聞き出しています。又家族の話をお聞きし、昔話や興味のある事などの話をするにご自分から色々な昔話をさせていただきます。	日常の会話の中、表情・行動から思いや意向を汲み取り把握するよう努めている。職員が決め付ける事のないよう、傾聴する事で本人本位のケアを心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話やご家族の協力をいただいで出来るだけ把握するようにしています。会話の中からその方の思いを把握して、個別処遇で馴染みの場所などにお連れしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人が出来る事は出来るだけして頂いていますが、その時その時で体調や気分変化、状況を見て支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	プランを作る前にスタッフとモニタリングして、出来る事、出来なくなった事、出来るようになった事など話し合っています。特に入居者担当者の意見を聞き個別処遇を含むプラン作成しています。	入居時に利用者・家族・職員・主治医の意見を取り入れながら個々に応じた計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い見直している。家族や利用者担当スタッフからの意見を聞き一人ひとりの現状に即したプランを作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎週火曜日にカンファレンスを行い情報交換、確認をし気づいた事も豆に記録し介護にいかしています。本人や家族の言われた事は情報の共有化をする為にノートに記録し全員がはあくするようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様体調や好みをお聞きして、その方に合ったリハビリを、生活の中から見つけ出し、楽しみをみつめています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	年2回の避難訓練は、消防署の方々の協力を頂いています。炊き出し訓練など地域の方々も交えて、災害対策の訓練も協力頂いています。又地域のボランティアの受け入れも行っています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族等の希望をお聞きし、かかりつけ医で定期的に受信及び検診を行い健康管理に努めています。夜間帯は、往診に来て頂いています。	利用者・家族の希望するかかりつけ医の受診支援を行っているが、同系列の医療機関での往診・受診が多い。他科受診は利用者の症状に応じて家族にも同行協力してもらっている。夜間帯は往診に来てもらうなど、医療体制は整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院、特養ホームの看護師の方々は、入居者の状況を把握して頂いていますので入居者の体調変化や気になることがあるとそうだんしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院後は入院先に出向いてグループホームでの状況経過を情報交換しています。職員ができるだけお見舞いに行くようにしています。大変喜ばれます。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>御家族や本人様の意向を一番に考えています。御家族へは、入居前、担当者会議の時説明しています。現在ほのぼのでは、見取りに近い利用者様がお二人いらっしゃいます。特養ホームの看護師より終末期に向けて意見、指導を受けています。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの指針は入居時に説明・同意をもらっている。現状看取り事例は無いが、今後は段階に応じた確認・指針を作成し、家族・ホーム・関係機関とで最大限の支援に取り組んでいく姿勢である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修会の実技や看護師を交えて勉強会を行い急変に対応できる体制を取っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練や炊き出し訓練などで、職員・入居者・家族を交えて災害時避難方法について話あっています。又防災カードを利用者の家族に了解もらい作り、使用しています。</p>	<p>年2回昼夜想定で防災訓練を行っている。前回の目標達成計画の自主訓練も年2回実施している。運営推進会議時に訓練を行い、地域自治会の協力も得られている。備蓄・スプリンクラー・緊急通報システムも万全である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の使用に係わる同意書を入居時に説明し、同意を頂いています。言葉も入居者の生活歴を重んじ尊敬の念を持って声かけしています。又法人全体で接遇セミナーを受講しています	定期的勉強会を年2回行っている。一人ひとりの人格を尊重した声かけ・オムツ交換・排泄介助等細かい配慮が出来るように職員には周知徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の話に耳を傾け、日常生活の中で希望思いを実現しています。思いを表すことが苦手な方もいますが、表情等を注意しながら本人の希望をくみ取り、自己決定を働きかけます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本、歌、園芸がお好きな方などお一人一人の楽しみを見出し、職員も共に楽しみを幅を広げています。又高齢な方は、その日その日で体調に合わせ楽しみを見つけ出しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日身支度をご自分のお好きなように出来るだけして頂いています。外出される時は、自分の好きな服を選んで、お化粧すると皆さん笑顔が見られます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を出来るだけ使い、畑で育てた野菜と一緒に収穫しています。食材の美味しい食べ方を教えて頂きながら食事の準備やかたづけを出来るだけ手伝っています。	個別の外出支援や年3回の手作り弁当持参での花見等の外出も行っている。利用者個々の力量に応じて食事の準備や後片付けなどを手伝ってもらい、食事を楽しむ工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人ひとりの体調に合わせ、バランス良く摂取できるようにしています。1日の水分量を確保し水分の少ない方、尿量の少ない方は、注意して摂取できるようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの確認を自立の方は声かけし、他の方はその方の出来範囲でして頂き、職員が介助して口腔状態を確認しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者それぞれの排泄パターンを把握し時間を見て声かけや誘導をし排泄の自立支援に向けて行っています。失禁された方に対してはさりげない声かけや傷付けないようにしています。	排泄チェック表の活用で、日中はトイレ誘導を行っている。自立している利用者もいる。一人ひとりの排泄パターンを把握し時間で誘導・声かけををして、自立に向け支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	館下剤の使用はしていますが、なるべく自然な排便ができるように繊維質のものを食材に取り入れています。運動不足も便秘の原因にも考えられるので、外の散歩、足踏み運動を取り入れています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望を尊重して入浴前にバイタルチェックして入浴しています。体調に合わせて、入浴を拒否される方には話題を変え気分転換して入浴して頂いています。	基本的には週3回程度の入浴であるが、個々の希望や状態に応じて支援している。現在は入浴を全員が好まれ、異性介助も可能である。気持ちよい入浴が出来る様、ゆず湯や足湯また個別で温泉に行く支援もしている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人ひとり生活習慣を、把握しその方に合った休憩や就寝時間を変えています。寝つきが悪い時には、寄り添い話をお聞きして安心して休んで頂きます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者全員の薬リストを作成して職員全員が把握できるようにしています。又変更等がある時には申し送りノートに記入確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	水墨画がお好きな方には、作品を飾って頂いたり、花の水かけ、家事手伝いなどその方に合った役割を感じていただけるようにしています。又臨床美術を年3回全員で開催します。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別処遇で墓参りや、カラオケ、親戚の家、買い物など、普段の会話の中で行きたい所や希望をお聞きしています。又家の掃除を希望される方もおられます。	花見や食事・水族館への外出もあるが、日常的には法人内の散歩・ラジオ体操などである。年3回の個別支援の外出では、墓参りや自宅にお連れすることもある。また不穏になられた時にはドライブに行き落ち着いてもらってる。季節ごとの行事にあわせて外出し、季節感を味わえる様に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>普段はお金の所持することはないのですが、外出の時はご家族に相談して、お土産代程のお金を持たれ、ご自分でレジで払って頂くようにされている方もいます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者の希望があればすぐに対応しています。又御家族からのお手紙や贈り物があつた時には、ご家族に電話しています。今年の手作り年賀状は、全員着物姿でしたので好評でした。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温度・湿度に注意して体調管理に注意しています。その方のお好きな物に囲まれる居室や、ゆったり出来るほのぼのでの生活空間や季節感作りを工夫しています。食堂・玄関には季節の花を入居者に生けて頂き花を絶やさないようにしています。</p>	<p>リビングは広く、台所が真ん中に設置してあり、利用者の様子が伺える。壁には季節の手作り作品が飾られており居心地よく過ごせる工夫がされている。また温度・湿度等の空調管理も配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファに並んで座り話や歌を歌われたりと楽しんでいます。又畳のスペースでは洗濯物や、休憩の場として役立っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅での普段飾られていた物を御家族に相談して持って来て頂き、居室で楽しまれている方もいます。仏壇を持ち込まれている方もおられ、手を合わせるのが習慣になられています。	ホームの備え付け以外の物は、家族の協力で、利用者の普段使い慣れた物、好みの物を置いている。中には仏壇やテレビを持ち込まれる方もいる。利用者本人が安心して暮らせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人ずつ、居室の目印の物変えて覚えて頂くように工夫しています。車椅子の方でもトイレのドアをご自分で開けて頂いたり、手洗いの水道をご自分で動かし洗って頂くよう声かけしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない